第１学年　学級活動（１）　学習指導案

指導者　栗原　団司

１　日　時　　平成28年11月21日（月）　　第３校時　10：35～11：20

２　学　年　　第１学年２組24名

３　議　題　　「チーム活動をさらにパワーアップさせよう」イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理

４　議題について

（１）児童の実態

本学級は，年度当初に，友だちや学校のよいところ，成長したところを発見できる仲間になろうと「わくわくどきどきだいはっけん」という学級目標を設定し，一人一人を大切な存在であると意識した学級経営に取り組んできた。児童は友だちのよいところを見付け，伝え合うことで自信をもったり，学習や生活の場面においてさらにがんばろうと意欲を高めたりするなど，前向きに取り組んでいる。帰りの会に行う「児童の相互評価」の時間では，同様の活動を行っている４年生との交流を通して，やり方を教えてもらったり，アドバイスをもらったりするなどの活動を行ってきた。現在は，友だちのよいところをしっかりと認め，発表したり，メッセージを送ったりする活動を継続している。

学級活動については，学級活動（１）「学級会を始めよう」の中で，オリエンテーションを行い，学級会の進行について学習した。児童は，自分たちで話合いを行うことによって学級をよりよくすることを理解するとともに，「自分のクラスを大切にし，自分たちの学級をつくっていく」「自分たちで考え，実践していく」という意識が育ってきている。話合い活動では，計画委員会を中心に，司会グループを輪番制で行うことで，司会グループの役割を学級の全員が理解し，積極的に自分の役割を遂行する姿が見られるようになった。また，自分たちで話合いを進めていく中で，徐々に友だちの意見を聞いたり，ペアトーク・グループトークなどで友だちと意見を合わせて発表したりする姿も見られるようになった。しかし，「理由が思い浮かばない。」「意見を述べていいかどうか分からない。」といった理由から，自分の考えがはっきり言えない児童もいる。

班活動などのグループ活動では，お互いに認め合える素地があるため，それぞれの役割を，責任をもってやろうとする姿が見られる。係活動については，これまで当番的なチーム活動（※）を中心に学級内の活動を行い，決められた仕事は責任をもってやることを学習した。１年間の半期を過ぎ，更に学級をよりよくしようと，進んで行動することを考えながら活動する児童が増えている。しかし，11月に行った特別活動アンケートにおいては，「チーム活動はすきです」という設問に対し，ほぼ全員の児童が肯定的な回答をしたのに対して，「係活動の時間を決めて，定期的にしています」「係活動でやりたいこと（アイディア）があります」という設問に対して，「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた児童が，約40％いたことから，チーム活動を，いつ，どのように行ったらよいのか，困り感をもっている児童もいると考える。

※本学級では，あえて「係活動」とは言わず「チーム活動」として児童に提示している。これは当番活動と係活動の導入期である第１学年において，二つの活動を区別し，活動内容を混同しないためである。

（２）議題設定の理由

これまで，低学年の発達段階と児童実態から，当番的な活動中心の係活動を行ってきた。児童は活動を通して，自分のやりたいことや，学級生活を更によりよいものにするアイディアを出し始めており，自分の得意なことや好きなことをチーム活動に生かして，学級全体が楽しくなるようにしたいという思いをもつ児童も増えてきた。反面，どんなことがやりたいのか，どのように進めたらよいのか，活動を進めるに当たっての悩み等を感じている児童もいる。

そこで，チーム活動に自分の得意なことや好きなことを生かしたり，更によりよい活動にするための工夫をしたりするために，本議題を「チーム活動を更にパワーアップさせよう！」とし，どのようにして活性化させるかを考える話合い活動を設定するものである。

前時までに，「チーム活動を振り返ろう」の学習を行い，さらによりよいチーム活動にするために，自分がやりたいことや，実際に活動して困ったことなどを出し合い，計画委員会で集約する。さらに，朝の会で各チームからの意見を提示し，学級会までにどのようにチーム活動を活性化させるか，そのための改善策を一人一人に考えさせた上で，学級会を行うようにする。

指導に当たっては，児童が学級をよりよくするために，アイディアを出し合い，話し合いながら，計画的に活動を進めていくようにさせるために，経済界でも有効とされる「チーミング」の視点をもたせる計画シートを取り入れたチーム活動を行う。「チーミング」とは，組織が相互に絡み合った仕事を遂行するための，より柔軟な新しい方法であり，効果的なチームをつくるために「率直に意見を言う」「協働する」「試みる」「省察する」という四つの柱がある。授業においては，このチーミングの視点を生かした計画シートを活用し，四つの柱をチーム活動で繰り返し行うことによって，児童がチーミングの必要性を認識し，相互に話し合いながら役割を分担して活動，改善する中で，児童の参画する態度を段階的に高めたい。

表１にチーミングの四つの柱と取り入れるキーワードを示す。

表２　チーミングの四つの柱と取り入れるキーワード

チーミングの四つの柱	キーワード
【率直に意見を言う】 会話には，質問すること，意見を求めること，過ちについて話すことが含まれる。	**【意見を言う・質問する】** 自分の考えをきちんと言うことができる。
【協働する】 協働の姿勢と行動があって初めて，プロセスを推し進めることが可能となる。	**【目標に向かって協力し，助け合う】** 共通の目標に向かって，準備をする。
【試みる】 何度も試みが行われるが，これにより個人と個人の交流につきものの新奇さと不確実性を受け入れることになる。	**【チャレンジする・工夫する】** 計画したことについて工夫する。取り組む。
【省察する】 プロセスと結果をしっかり観察し，明瞭に質問し，よく話し合うことが重視される。	**【認め合う・振り返る・改善する】** 相互評価を行う。直すところを明確にして，改善する。

また，児童が各活動を，自主的に行えるようにするために，チーム活動の進度に合わせて，重点と

なるチーミングの視点を設定する。

本時の展開においては，話し合う内容を焦点化するために，全体での話合いから，各チームでの話合いになる場面で，「自分たちのチームで工夫したいことや，更によくするアイディアを話し合おう」と話合いのめあてを示す。また，「どんなチーム活動を行うのか」というチーム内での集団決定の際には，互いの意見を尊重し合いながら活動を決定し，よりよい活動内容の工夫ができるようにするために，チーミングの視点「試みる」を重視する。

こうした，学級全体又はチームでの話合い活動を通して，学級内の人間関係を深めるとともに，自分たちの力でよりよい学級をつくっていこうとする自主的，実践的な態度を育てていきたい。

5　評価規準

観点	集団生活や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
評価規準	学級生活をよりよくするための意見を考えている。また，進んでチーム活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話合い，自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え，判断し，仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや，学級集団としての意見をまとめる話合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

6　事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	流れ	児童の活動	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月16日(水)	事前	チームの話し合い	業間	・チーム活動で困っていることを考える。	・計画シート
11月17日(木)		個人思考	帰りの会	・各チームで困っていることの解決方法を考える。	・計画シート
11月18日(金)		計画委員会 ・係と人数の原案 ・話合いの流れ	業間	・話合いの仕方について確認し，役割分担を行う。	・司会カード ・めあてをもって活動できるように話合いの準備をしている。 （行動観察）

【学級全体の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月21日(月)	学級活動（１） ・チーム活動について工夫することや，アイディアを出す。 ・チーム活動について，内容を考える。	・自分の考えを大切にして，チーム活動のアイディアを出すことができるようにアドバイスを行う。 ・よりよい学級になるように，チームごとに話合いを行い，計画を立てる。	【関心・意欲・態度】 ・係の具体的な活動を考え，提案している。 （計画シート・観察）

7　本時の展開

（1）本時のねらい

自分の好きなことや得意なことから係を決め，友だちと相談して，自分たちで計画的に活動を進めることができるように，内容を考える。

（2）児童の活動計画

だいか7かい　1ねんせいわくわく学きゅうかい　かつどうけいかく　11月21日（月）第3校時		
ぎだい	チームかつどうをさらにパワーアップさせよう	
やくわり	しかい（　　）　（　　） こくばん（　　）（　　） しょき（　　） ていあんしゃ（　　）	
ていあんりゆう	チームかつどうをパワーアップするために，どうしたらいいかはなしをしたいので，ていあんしました。	
めあて	学きゅうがさらによくなるように，チームかつどうについていけんをはっぴょうしよう。	
きまっていること	チームはきまっている。チームのけいかくもきまっている。	
はなしあいのじゅんじょ	きをつけること	じゅんび
1　はじめのことば	・大きなこえではっきりという。	
2　けいかくいいんのしょうかい	・じぶんのめあてをいって，じこしょうかいをする。	しかいカード
3　ぎだいのかくにん	・大きなこえでわかりやすくせつめいする。	
4　ていあんりゆう	・こくばんにかいてあるが，わすれないようにする。	
5　こまっていることのかくにん	・チームでこまっていることについてかくにんする。（はなしあったないようを，たんざくにかいてはっておく。）	けいかくシート
6　チームかつどうについてのいけん	・それぞれのチームかつどうについて，つづけてほしいことやおねがいしたいことをはっぴょうしあう。	
7　はなしあい ①どうしたら，こまっていることがかいけつするか ②チームごとに，どのようにかいけつするか	・チームごとに，いまかんがえているかいけつさくをはっぴょうし，さらにみんなからアドバイスをもらう。 ・かつどうしたいないようと，どうしたらできるかについて，チームごとにはなしあう。	

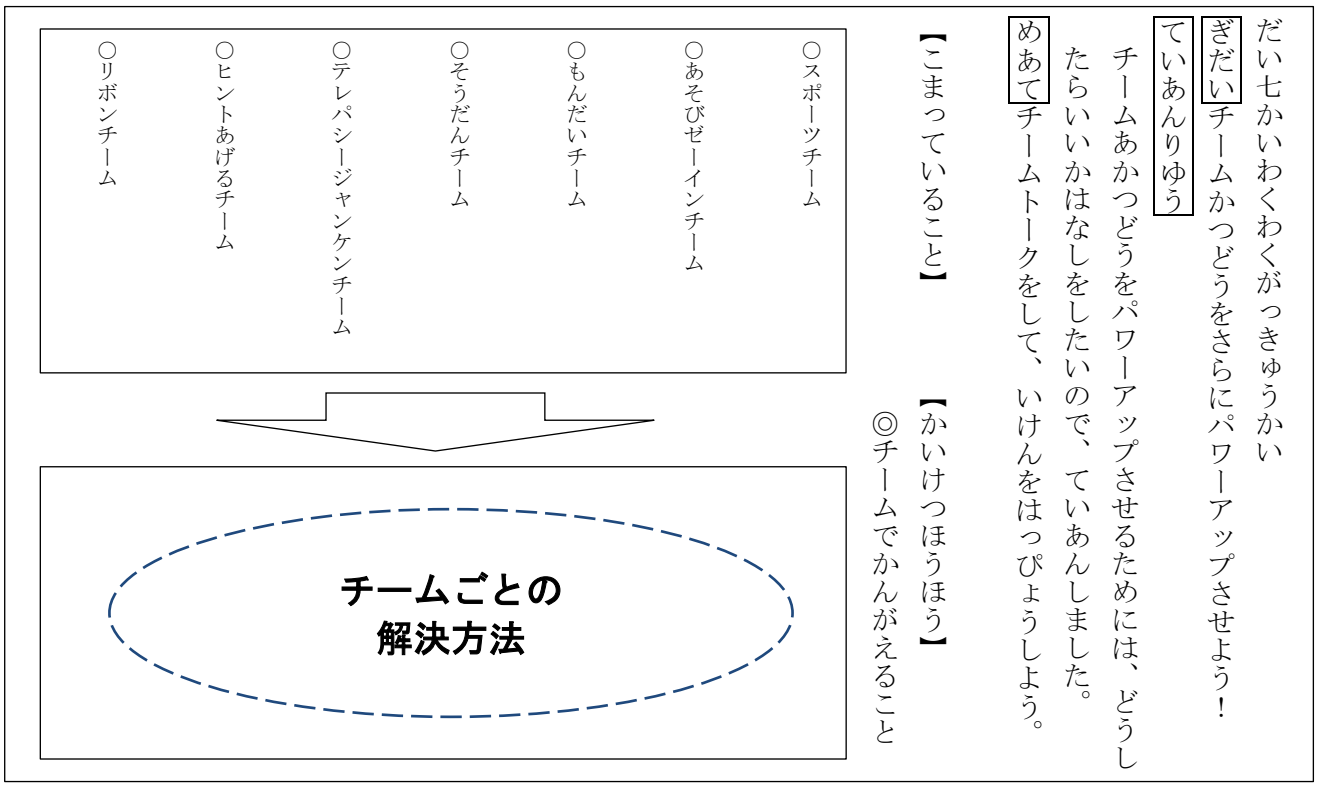
8　チームのはなしあい ①みんなのいけんをきいて，じぶんたちのチームかつどうをくわしくする。 ②いつ，どこでやるかをきめる。	・チームかつどうのないようをきめる。 ・くふうすることや，アイディアを出しあう。	けいかくシート
9　ふりかえり 10　せんせいのはなし	・ともだちのよかったところや，がんばりたいことをはっぴょうできるようにする。 ・チームかつどうをじぶんたちでがんばることができるようにはなしをする。	

（1）教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点・予想される児童の意見	目指す児童の姿と評価方法
1　はじめの言葉 2　計画委員の自己紹介 3　議題の確認 4　提案理由やめあての確認 5　決まっていること話合い ①チームの悩み ②意見交流 ③チーム活動の決定	・自分のめあてが言えるように事前に指導する。 ・提案者の思いを全員が理解し，話合いの指針となるように事前に指導する。 ・理由を付けて発表できるように助言する。 ・それぞれのチーム活動のよいところや希望を「続けてほしいこと」や「お願い」として交流する。 ・提案理由を意識し，学級を楽しくするチーム活動ができるように促す。 **チーミング①試みる** 学級がさらに楽しくなるように，チーム活動のアイディアを出す。 ・発言が偏らないように，必要に応じて助言する。 ・自分の考えに固執せず，納得した上で考えを変えるなど，折り合いをつけることも必要であることについて助言する。 ・やりたい活動と，できない理由について交流することを確認する。	【関心・意欲・態度】 ・チーム活動でやりたいことを，学級が更によくなることを考えて発言している。（行動観察）
7　チームの話合い ①悩みの交流	【予想される児童の意見】 ○スポーツチーム ・いつ，どこでやったらいいか分からない。 ○あそびゼーインチーム ・月曜日にやりたいけど，どうやって全員遊びをやったらいいか分からない。 ○もんだいチーム	

	・昼休憩に問題を出したいけど，どうやって活動したらいいか分からない。 ○そうだんチーム ・相談する（してくる）人がいない。 ・相談する場所を考えたい。 ○テレパシージャンケンチーム ・何を出すか相談している時，見てくる人がいる。 ○ヒントあげるチーム ・勉強で困っている人がいつもいない。 ・どのようにヒントをあげるか分からない。 ○リボンチーム ・飾り付けをする人がたくさんいる。 ・片づけをきちんとやらない，やってくれない。	
②チーム活動の工夫	・発表された解決策をもとに，個々のチームで今後の活動を具体化する。 【予想される児童の意見】 ・いつどこでやったらいいかを決め，みんなに発表する。 ・ルールを決めて，みんなに知らせる。 ・遊びで使う物を準備する。 ・問題を作ったり，やる時間を決めたりする。 ・相談する人が，相談しやすいように場所を決める。 ・話し合いをする時は，のぞかない，聴かないというルールをみんなで決める。 ・勉強で困っている人だけでなく，宿題を忘れた人にも声をかける。 ・飾りを作る時は，片付けの時間も考えておく。	
7　係の話合い ①活動内容 ②工夫 ④意見の集約	・目標を明確にして，活動を進めるよう助言する。 ・自分たちのやりたいことが明確になるように助言する。 ・どうやったら，よりよいものへ工夫できるか考えさせる。	
8　話合いの振り返り	**チーミング④省察する** チーム活動の振り返りをする。	【思考・判断・実践】 ・チーム活動で決まったことを，具体的にしている。 （行動観察・計画シート）
9　先生の話	・計画シートを基に，自分たちで考えて活動するように指導する。また，計画委員会のがんばりを評価する。	
10　終わりの言葉	・チーミングの四つの視点について評価する。	

8　板書計画



9　事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・業間時間などに，チームで集まって活動する。 ・友だち同士で取組を確認し合う。	・時間設定をきちんと行い，全員が集まることができるようにする。 ・事後に振り返る時間を設定し，実践に対する相互評価を行う。	【関心・意欲・態度】 ・友だちと相談して，進んでグループ活動を行っている。 （行動観察・計画シート） 【知識・理解】 ・話合いの方法を理解し，友だちと話し合いながら，チーム活動を進めている。 （行動観察・計画シート）
・朝の会，帰りの会を活用して，活動を行う。 ・友だち同士で取組を確認し合う。	・友だち同士で取組を確認し合う場を設定している。	【関心・意欲・態度】 ・友だちと相談して，進んでグループ活動を行っている。 （行動観察・計画シート） 【思考・判断・実践】 ・グループの話合いを計画シートを基に行っている。 （行動観察・計画シート）

※帰りの会に，相互評価を行い，児童同士の活動を認め合う場を設定する。